

THE UKI NEWSLETTER

職員が自ら考え行動し行財政改革を進める プロジェクトチーム 始動



職員が市民になりきって各手続きを体験

市民目線の施策の実現へ

市では、職員が市民目線で何が最適か、自ら考え行動し、迅速かつ効率的に行財政改革を進めていけるよう、令和3年3月に市役所改革プランを策定。

計画期間は令和3～6年度の4カ年。『新たな価値を創造する、市役所改革－利用者視点の取組で市民中心の行政経営の実現へ－』を基本理念としています。

図 市長政策課 ☎32-1803

4つの重点目標

- 1 改革の重点目標は次の4つ。
市民ニーズやトレンドに基づいた質の高いサービスの提供
- 2 働きがいのある、働きやすい環境づくり
- 3 組織風土を改革マインドへ
- 4 人口減少を見据えたリソース(資源)の最適化

り、令和3年度に職員有志からなる「市役所改革プランプロジェクトチーム」を立ち上げました。職員が提案から施策実現まで一貫して行うことで、改革マインドを醸成。さらに、組織全体への浸透を図っていきます。また、このプロジェクトチームは新たな職員で毎年結成。施策の調査・研究、施策の提案、関係部局への支援まで行い、スピード感を持って取り組みを進めています。

今年度の取り組みは

今年度のテーマは「転入出などの手続きに関する市民サービス向上」と「職員の成長とコミュニケーションの活性化」。

この2つの実現に向け、メンバー7人で試行錯誤。6回のミーティングを重ね、いち市民として窓口を訪れ、転入出などの手続きを実際に体験しました。また、先進自治体へ視察に出向いたりアドバイスを受けたりして、第1弾となる「出生の手続き案内シート」を完成させました。

改革プロジェクトチーム

この計画を推進するに当た

プロジェクトの合言葉は「常に市民目線」。

今後も、婚姻届などの手続きを案内する冊子を作成し、手続き時間の短縮や一度で手続きが完了する仕組み作りなど、ストレスフリーな窓口サービスを目指します。

戸籍の登録だけで30分。イレギュラーな場合はそれ以上かかります。他に必要な手続きを知っておけば、その時間を有効に使えます。手順に沿って説明しているので、ぜひ使ってください。

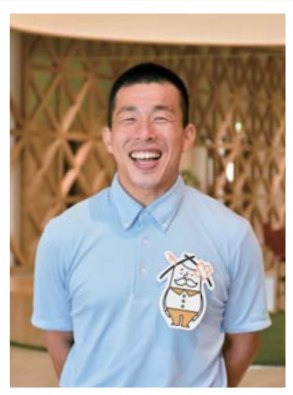


プロジェクトメンバー
地域振興課 下川 恭平 主任主事



完成したシートは市民課や支所で配布

新任の地域おこし協力隊



10月1日着任
地域振興課 山本 浩二 さん

持ち前のフットワークで 市の魅力を発掘したい

神奈川県出身で熊本に移住して5年。引っ越し業界に20年勤めていた経験がありフットワークも軽く、パワーがあふれています。

空き家バンク登録推進活動をしているが、県外からの移住者目線で、宇城の魅力を発掘、体験して皆さんに伝えていければと思います。

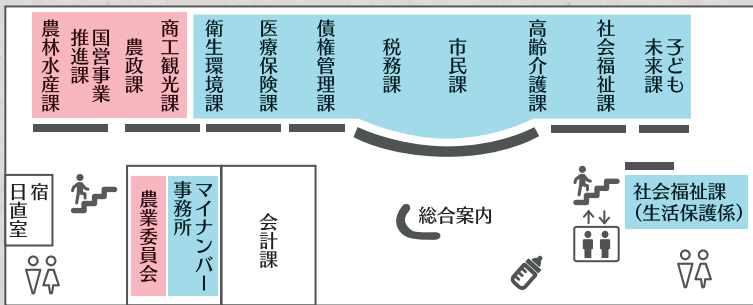
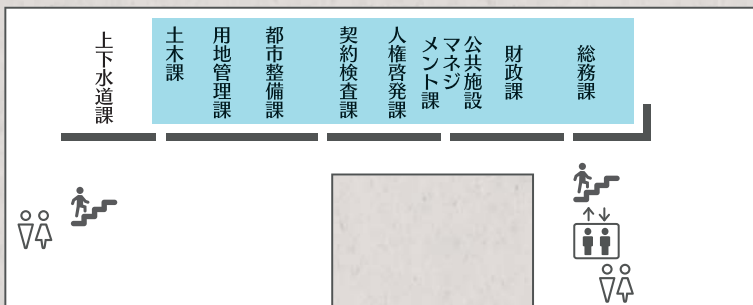
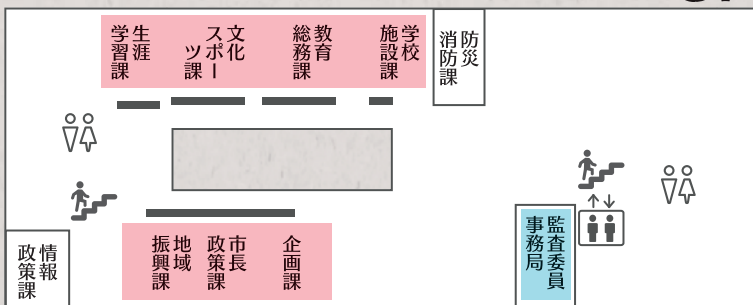
前職の経験を生かし、移住者への支援活動やおうちの片付け支援なども積極的に活動していきたいです。

profile 東京、神奈川、熊本で引っ越し業を10社以上経験。現在熊本で農業の手伝いなども行う。

市役所本庁舎の大規模改修が完了 庁舎内外で移転作業を行います

図 公共施設マネジメント課 ☎32-1811

12月3(土)・4日(日) 庁舎内移転
12月10(土)・11日(日) 不知火支所、小川支所から移転



正面玄関